



日本MRS The Materials Research Society of Japan (MRS-J)

設立: 1989年3月16日

目的: 先進材料に関する科学・技術の専門家の横断的・学際的研究活動を通じて、その学術・応用研究および実用化の一層の進展を図ること。

事業: ①学術シンポジウム、研究会、講演会の開催
②内外の関連諸機関との連携協力
③Transactions・会誌・図書の刊行
④その他

役員: (2011.4~2012.3)

会長 岸本 直樹
副会長 鈴木 淳史、澤井 伸一、伊熊 泰郎
常任理事 鶴見 敬章、小田 克郎、須田 敏和、原田 幸明、野間 竜男、木村 茂行、井奥 洪二、岡部 敏弘、高原 淳、節原 裕一、中川 茂樹、Manuel E. Brito、香山 正憲、森 利之、原 一広、小椋理子、篠原嘉一、寺嶋和夫
理事 石崎 幸三、北條 純一、高梨 弘毅、林 司、寺田 教男、和田 仁、小関 敏彦、片山 幹雄、松本 睦良、高崎 明人、中野 貴由、加藤 隆史、今福 宗行、西本 右子、幾原 雄一、東 雄一、田中千秋、酒井 均、有沢俊一、岡部弘高、柿下和彦
監事 山本 寛、齋藤 永宏
常任顧問 宗宮 重行、堂山 昌男、増本 健、高木 俊宜、山本 良一、梶山 千里、吉村 昌弘、岸 輝雄、高井 治、山本 寛
顧問 長倉 三郎、井上 明久

事務局: 〒105-0003 東京都港区西新橋 1-5-10
新橋アマノビル 6F, (社)未踏科学技術協会内
E-mail: general-inf@mrs-j.org, membership@mrs-j.org, publication@mrs-j.org, publicity@mrs-j.org
URL: <http://www.mrs-j.org>

会員数: 約 900 名 (2012.1.1 現在)

年会費: 法人会員:(事業所単位)100,000 円、
個人会員:6,000 円、学生会員:2,000 円

会員の特典: 学術シンポジウム等の情報提供、割引価格で参加
会報「日本MRSニュース」による情報提供(無料)
論文誌 Transactions of the MRS Japan 等の無料配布

日本MRSの設立経緯と活動状況:

独創的研究開発の重要性はますます高まっており、技術革新と新材料創成とが相互に因となり果となって進展していることはご高承のとおりであります。また、現在人類が直面している環境問題等複雑に絡み合った多様で困難な問題を解決し、持続可能な経済社会と生活を得るためにも、新材料・新素材の発展が強く求められています。

このような新しい材料の研究開発のあたっては、従来の金属・有機・無機材料、あるいは構造・機能材料といった材質ないし用途別の、また化学工業・鉄工業・機械工業・食品工業・医療・運搬・通信といった業種・職種別の縦割の既成概念を超えて、横断的、学際的にあらゆる分野の専門家が連携協力することが有効、かつ不可欠であると考えます。

日本MRS(The Materials Research Society of Japan)は、1988年5月池袋サンシャインシティで開催されたMRS International Conf. on Advanced Materialsを契機として、材料に関する横断的、学際的学術研究団体として1989年3月に発足しました。(当初名称、先進材料科学・技術研究会Advanced Materials Science and Engineering Society 1990年、日本MRSに改称)

以来、国際MRS連合-アジア会議 IUMRS-ICA'93(Intn'l Union of MRS, Intn'l Conf. in Asia, '93.8,池袋)、IUMRS-ICA97('97.9, 幕張)、10周年記念学術シンポジウム('99.7,東京)、IUMRS先端材料国際会議 IUMRS-ICAM2003('03.10, 横浜)等、約50回のシンポジウム、講演会を開催し、2008年12月にはIUMRS-ICA2008を名古屋で1800名の参加者を迎え、盛大に開催しました。20周年記念学術シンポジウムは2009年12月に横浜でIUMRSメンバー迎えて開催しました。今年2012年は、9月23日から28日にIUMRS電子材料国際会議 IUMRS-ICEM2012(Intn'l Conf. on Electronic Materials)を、39シンポ、3フォーラムを設け、横浜パシフィコにおいて開催します。

一方、毎年国内で定期的に開催するMRS-J学術シンポジウムも、5つ以上の国際セッションを含め、1000名規模の講演者・参加者を迎え、国際色豊かな講演・討論が繰り広げられています。

今後は、2014年には福岡でIUMRS-ICA2014等を開催することとしています。このように日本MRSは、国際MRS連合(Intn'l Union of Materials Research Societies)の創設メンバーであり、材料科学技術分野において、益々グローバルな活動を展開していることが大きな特色です。また、会報「日本MRSニュース」及び論文誌「Transactions of the Materials Research Society of Japan」の定期的な刊行、あるいはホームページによる材料科学技術に関する広報活動を日常的に実施しています。

以上のように、日本MRSは細分化され専門化されすぎた科学・技術を再統合し、学術理論から産業面・社会生活面での応用に至る、また、素材開発・加工技術・応用技術の各分野に亘る材料に関する専門家から、広く市民や政策担当者に対して、物質・材料を巡るあらゆる問題を議論する場を提供し、研究成果・データ等を共有財産としつつ材料科学・技術と発展に寄与したいと考えております。学際的あるいは横断的分野の材料についての全ての問題をタイムリーに取り上げ討議する場として、この日本MRSを位置付けたいと思います。多方面から多数の方々との積極的なご参加と、ご支援をお願い申し上げます。

参考:IUMRS(International Union of Materials Research Society)は、学術的材料研究の振興を共通の関心とする学術団体から構成される国際機関です。詳細はインターネットの IUMRS Homepage(<http://www.iumrs.org>)をご覧ください。

加盟機関(2012.1.1 現在、14機関):

MRS-Africa, MRS-Argentina, MRS-Australia, Brazil-MRS, Chinese MRS, European MRS, MRS, MRS-India, MRS of Japan (MRS-J), MRS-Korea (MRS-K), MRS-Mexico, MRS-Russia, MRS of Singapore, MRS-Taiwan